

## リサイクルされたCO<sub>2</sub>吸着剤を原料に用いたガラスを開発 ～G7 広島サミット公報展示物にガラスを提供～

2023年5月18日から22日に開催されたG7広島サミット国際メディアセンター広報展示ブースに、日本山村硝子株式会社（本社：兵庫県尼崎市、代表取締役社長執行役員：山村 幸治、以下当社）らが開発したガラスを用いた作品が展示されました。



（左）CO<sub>2</sub>吸着剤を原料に用いた  
雪原を表現するガラス製台座と  
マスコットキャラクターの zero くまくん



（右）G7 広島サミット公報展示

公報展示では、株式会社レブセル（本社：横浜市都筑区、代表取締役：山本 健二 氏）が開発したCO<sub>2</sub>フィルターや日本エアータック株式会社（本社：東京都台東区、代表取締役社長 平沢 真也 氏）のDAC（Direct Air Capture）システム搭載型ハイブリッド空気清浄機が展示されました。レブセル社のCO<sub>2</sub>フィルターは、空気と触れることでCO<sub>2</sub>を吸着固定します。当社は、使用済みCO<sub>2</sub>フィルターの吸着剤を用いてガラスを製作しました。

展示物は、CO<sub>2</sub>を吸着固定した吸着剤から作られたガラスで表現した雪原に、レブセル社のマスコットキャラクターであるホッキョクグマの「zero くまくん」が載った作品です。温暖化の影響で氷が溶け生息地が狭まっているホッキョクグマをモチーフにしたキャラクターと、実際にCO<sub>2</sub>を回収した原料で作ったガラスとのコラボレーション作品になっています。

ガラスびん等に用いられるガラスの原料の多くは、地球の資源を用います。展示するガラスは、原料の一部にリサイクルされた CO<sub>2</sub> 吸着剤を用いることで、ガラス原料の新たな資源循環の可能性を示します。

気候変動を始め世界的な環境問題が取り上げられ、カーボンニュートラル社会の実現に向けた議論が活発にされております。大気中の CO<sub>2</sub> を直接回収する DAC は、温室効果ガス排出削減策の一つとして注目されています。当社はガラス素材のリサイクルで培った技術を応用し、2050 年のカーボンニュートラル社会の実現へ貢献することを目指して技術開発をおこなってまいります。

ご参考)

G7 広島サミット (Hybrid Air Purifier with DAC System) ホームページ

<https://g7imc.jp/exhibition/073/index.html>

株式会社レブセル ホームページ

<https://www.revcellcarbonoffset.com/>

日本エアテック株式会社 ホームページ

<https://www.airtech.co.jp/>

AC Biode 株式会社 ホームページ

<https://www.acbiode.com/>

◎本件に関するお問い合わせ先

日本山村硝子株式会社 環境室

E-mail [kankyo@yamamura.co.jp](mailto:kankyo@yamamura.co.jp)

TEL 06-4300-6060

以上